

令和6年度 川場村のあゆみ

【アルペンスキー・ジュニアオリンピック出場】

川場村スポーツ少年団「ジュニアスキーレーシング」に所属する星野太郎くん（川場小6）が、3月23日～27日に信州菅平高原パインビークススキー場にて開催された「アルペンスキー・ジュニアオリンピック」・「全日本ジュニアスキー選手権大会」に群馬県代表として出場しました。

出発前に外山村長に出場を報告し激励を受けました。（本村からのジュニアオリンピック出場は8年ぶり3人目の快挙となります。）



【門脇豊二さんが自衛官募集相談員に委嘱されました】

令和6年6月24日（月）に令和6年度自衛官募集相談員委嘱式が執り行われ、門脇豊二さん(谷地)が、川場村長と群馬地方協力本部長の連名で「自衛官募集相談員」として委嘱されました。門脇さんは自衛官募集相談員として、これまで7期14年の長きにわたり相談員活動に御尽力していただいております。今年度をもちまして、8期目の委嘱となりました。

自衛官募集相談員は、自衛官志願者に対する自衛隊の情報提供や、地方協力本部の行う募集や広報活動について支援をしていきます。門脇さんは、外山村長、群馬地方協力本部林副本部長より激励の言葉を送られつつ、和やかな雰囲気の中に委嘱式を終えられました。



【百歳を祝い、慶祝状 ～横坂みつさんが百歳の誕生日を迎えられました～】

7月5日に横坂みつさん（中野）が百歳の誕生日を迎えられました。みつさんは現在、川場春光園に入居し、お元気に過ごされています。

7月8日（月）、外山村長、黒田副議長、小林社会福祉協議会長が、みつさんの長寿を祝い川場春光園を訪問しました。外山村長から慶祝状、黒田副議長から特別祝金の目録、小林社会福祉協議会長から記念品が贈られました。

ご家族、施設の職員の方々にも上寿のお祝いをして頂き、嬉しそうな表情のみつさんでした。これからも健康に留意され、お健やかに過ごしてください。



【アメリカ合衆国へホームステイ ～川場村中学生国際交流事業～】

8月13日（火）から8月20日（火）までの8日間、アメリカ合衆国ワイオミング州スターバリー地方にて行われた川場村中学生国際交流事業に、川場中学校の3年生19名が参加しました。

この事業は、アメリカの生活や文化を体験することで国際感覚を養い、国際性豊かな人間の育成を目的に平成7年度から実施されており、今回で27回目となりました。（新型コロナの影響により令和2年度～4年度は中止）

生徒たちは、それぞれのホストファミリー宅で4日間を過ごした後に、全員でイエローストーン国立公園やグランドティートン国立公園等を見学し、充実した8日間となりました。

家族と離れ、異国の地で過ごしたこの8日間は、生徒たちにとってかけがえのない時間になったことと思います。今回の事業で学んだこと、経験したことを、これからの学習や生活に生かしてほしいと思います。



【川場村発展への功績が認められました ～宮田 和昌氏に旭日單光章～】

8月26日（月）、宮田氏ご自宅において、旭日單光章の伝達式が執り行われ、元川場村議会議員 宮田和昌氏に、外山村長より勲記と勲章が手渡されました。

宮田氏は、川場村議会議員として平成3年から平成19年までの4期16年と長きにわたり在職されました。

その間、川場村議会議長を始めとする数々の要職を務め、（株）世田谷川場ふるさと公社が実施する里山整備事業に長年携わる等、川場村発展のため多大な貢献をされました。この度、その功績が認められ、天皇陛下より旭日單光章が授与されました。



【角田嘉吉さん（川場湯原）の精米を献納 ～新嘗祭献納式～】

10月21日（月）に新嘗祭献納式が行われ、本村からは、角田嘉吉さん（川場湯原）が選ばれ、栽培した精米（こしひかり）1.5kgを皇室へ献納しました。

新嘗祭とは、11月23日に、天皇が五穀の新穀を天神地祇（てんじんちぎ）に勧め、また、自らもこれを食して、その年の収穫を感謝する祭儀とされています。

本村から皇室へのお米の献納は、平成27年以来18人目（令和改元の大嘗祭も含む）となり、献納にあたり、精米の選別作業を行い、一粒ずつ色や形を確認しながら美しい輝きを放つお米、一升が集められ献納されました。

群馬県を代表して、本村の精米が選ばれたことは大変喜ばしい知らせとなりました。



【長寿を祝い慶祝訪問】

9月28日（金）、外山村長、小菅議長、小林社会福祉協議会長が今年度90歳を迎える皆様のご自宅を訪問、長寿を祝福しお祝いの品々を贈りました。皆さん大変お元気で、趣味や仕事、デイサービス等、毎日楽しく過ごすことが健康の秘訣とのお話でした。

また、百歳を迎えられた横坂みつさん（中野）に、内閣総理大臣からの慶祝状と記念品を伝達させていただきました。

10月15日（火）には、外山村長、黒田副議長、小林社会福祉協議会長が10月14日に百歳の誕生日を迎えられた小林さいさん（谷地）を訪問し、慶祝状、特別祝金の目録、記念品を贈りました。

さいさんは現在たやの家に入居中で、ご家族、施設の職員の方々にも百歳のお祝いをして頂き、大変嬉しそうな表情をされていました。

ご長寿の皆様、これからも健康に留意され、お健やかに過ごしてください。



小林さいさん（谷地）100歳



星野次郎さん（生品）90歳

【「新たな森林資源利活用・価値創造プロジェクト」 協定調印式】

森林資源の持続的な利活用に向けて川場村は24日、村内の小水力発電所を開発した東京都のアドバンス、その発電所の運営を担うヒューリックと協定を結びました。

3者で連携して村有林などの整備を進め、生物多様性を回復させる「ネイチャーポジティブ」の実現を目指します。



雪ほたか通算16大会20個目の金賞！

～「米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」総合部門 小林仁志さん金賞受賞～

12月6日（金）、7日（土）に国内最大規模を誇る「第26回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会 in 北杜」（主催：米・食味鑑定士協会など）の最終官能審査が、山梨県北杜市で開催されました。総出品点数4,736点。国際総合部門では、小林仁志さん（立岩）が4年連続8度目の金賞、また、水田環境特A部門では、和田祐次さん（天神）が特別優秀賞を受賞しました。成績は以下のとおりです。

【国際総合部門】

金賞 小林仁志（立岩） 品種 ゆうだい21

【水田環境特A部門】

特別優秀賞 和田祐次（天神） 品種 ゆうだい21



※受賞された皆さんは(株)雪ほたかに所属しています。



【民生委員協議会共同募金活動、厚生労働大臣表彰を受賞】

～長年にわたる共同募金活動が評価を受けました～

長年にわたり川場村民生委員児童委員協議会が取り組んできた共同募金活動が顕著であると認められ、この度、厚生労働大臣表彰を受賞しました。

村民の皆さんのご厚意・ご協力により集められた共同募金は、村内の子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動等に役立てられています。共同募金活動に関係する皆様に感謝するとともに、今後も引き続き民生委員協議会の共同募金活動にご協力をお願いいたします。



【川場村子ども応援隊スマイルに沼田警察署から感謝状が贈られました】

川場村子ども応援隊スマイルは、子ども達が安全に登校できるように街頭に立ち見守るボランティア活動が高く評価され、令和7年1月14日に沼田警察署から感謝状が贈られました。発起人の大根田好子さん（谷地）と吉野さゆりさん（谷地）が同月27日に村長に報告するため来庁されました。

現在の隊員数は142名で街頭指導の他、家庭科や体育の授業における補助、遠足の引率、図書室の整理整頓など多岐にわたって活動しています。



【食卓にこんにゃくを！ ～県こんにゃく立毛共進会～】

令和7年2月13日（木）渋川市伊香保町において「令和6年度 群馬県こんにゃく立毛共進会」が開催され、川場村から4名の生産者が県審査にて表彰されました。

受賞結果は以下の通りです。

優秀賞

群馬県知事賞（種玉の部）

高橋 秀幸氏

優等賞

日本こんにゃく協会理事長賞

星野 祐二氏

群馬県農業協同組合中央会会長賞

久保田 長武氏

全国農業協同組合連合会群馬県本部運営委員会会長賞

戸丸 晴幸氏



【金管バンド「川場キッズ」惜しまれながら42年で幕】

川場小学校の音楽クラブ「川場キッズ」が、2月22日（土）の川場村文化会館で行われたファイナルコンサートをもって42年の歴史に幕を下ろすこととなりました。

小さな村から何度も全国大会に出場して立派に演奏する姿は、多くの人に感動を与えてきました。



【文部科学大臣表彰 受賞】

2月28日（金）に文部科学省で「令和6年度優良PTA」と「令和6年度コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」にかかる表彰式が行われ、前者で川場小学校PTAが、後者で「川場村学校運営協議会とふれあい学習推進協議会」がそれぞれ文部科学大臣表彰を受賞しました。

川場小PTA活動では、千歳台小学校との交流事業を通し、お互いのPTA活動の情報交換を行っていること、ふれあい学習推進協議会と連携し子どもの成長を支援していること、また、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進では、学校運営協議会の「ふるさと人材育成」に向けた熟議や、地域学校協働活動の「チャレンジウィーク」「放課後子ども教室」「おもいっきり探検隊」の永続的な実施、加えて、地域学校協働活動推進員が学校と地域の両者をつなぎ、地域に開かれた教育課程を実施していること、さらに村民の「みんなで子どもを育てる」意識の浸透等を高く評価していただき受賞に至りました。

どちらの表彰も、村民の皆さんが今まで当たり前のように行ってきた、「うちの子もよその子どもも川場の子 川場の子どもは川場の宝 だからみんなで育てましょう」という思いをもって継続して取り組んでいただいた賜です。



【ありがとう、思い出の学び舎】

～川場小学校 151年、川場中学校 78年の歴史に幕～

川場村に各1校ずつある村立川場小学校と村立川場中学校ですが、3月21日（金）に各学校で行われた「閉校式」をもって閉校となりました。

閉校式は、各学校の体育館で時間をずらして、多くのご来賓や数日前に卒業した小学校6年生と中学校3年生も出席して、執り行われました。

新年度からは、小中一貫義務教育学校の「川場学園」として生まれ変わります。「川場学園」は現在の川場小学校の敷地内に校舎を増設して、4月の「開校式」をもって開校します。



【除雪協力者へ感謝状を贈呈しました】

3月24日（月）川場村役場において、除雪協力者へ感謝状を贈呈しました。

10年間に渡り、除雪協力者として地域社会へ尽力された多大な貢献を称え、星野孝之さん（川場湯原地区）と戸丸晴幸さん（生品地区）に感謝状が贈られました。

冬期間において安全な通勤・通学ができるのは、除雪協力者みなさんのきめ細かい除雪作業のおかげです。ほんとうにありがとうございます。

